

市民の心をつかむ行動力

選挙は、二期目が一番厳しいと言われます。
それが今度の選挙です。油断は許されません。
私は同じ町内に住み、谷口さんと一緒に「県・市政報告会」をさせてもらっています。
議員としての経験を生かし、必ず期待に答えてくれると確信します。
皆様のご支援をお願い致します。

富山県議会議員 菅沢 裕明



谷口さだお プロフィール

1945年 8月 氷見市早借に生まれ、旧小久米小学校、西部中学校に学ぶ。
1964年 県立有機高校卒業、同年4月プリマハム(株)高岡工場入社。
労働運動にも参画。
1974年 氷見市栄町に住み、現在に至る。
2002年 工場閉鎖により退職。
退職後、学校統廃合、保育所問題、「9条市民の会」、氷見市の「医療を考える会」など市民運動に参画。
同年 社民党氷見支部幹事長就任。現在に至る。
2006年 3月 氷見市議会議員補欠選挙に当選。
同年 10月 選挙で再選。現在に至る。
産業建設常任委員会に所属。

後援会員募集中

会員の方々と共に住み良い郷土を創るために、
みんなで活動する集まりです。

後援会会則（要旨）

- ・この会は会員相互の親睦をはかるとともに谷口さだおの活動を支援することを目的とします。
- ・この会は講演会や座談会の開催、会報やニュースの発行をします。

谷口貞夫後援会 氷見市栄町33-6 TEL72-4346

あきらめはダメ
あなたの声が市政を変える。

さだお
谷口 貞夫

後援会のしおり



みんなが住みたくなる まちづくり 地域づくりに

「谷口さだお」は力を注ぎます。



地域医療の再生。 安心できる福祉、教育の充実。

高齢者が増え続ける氷見市。公設民営化で医療体制が低下、市民が安心出来る医療体制の確立が急務です。

私たちの暮らしに大切な福祉・教育の低下は生きる者の希望を無くします。地域の声を生かし、医療・福祉・教育・子育て支援の充実をめざします。

地域に生きる人々が安心できる暮らしを

高齢者や弱者が安心して暮らせる気くばりのある郷土。山村、過疎で必死に生きる人びとの暮らしと交通対策。ハンディキャップをもった人、経済的に苦しい人に目を向けた地域づくりをめざします。

市民の声が届く市政。 住民が主人公のまちづくり

もがきながら、歯を食いしばり、必死に生きる市民の姿。同じ市民でありながらの「格差社会」。

この人たちの声が生きる住民参加の行政・議会づくりをめざします。

4年間、ひとり一人の暮らしが一番、住民と行政をつなぐ“かけ橋”として活動してきました。皆様のお陰です。感謝を申し上げます。

生活の悪化で将来への不安が増大する社会。市民に期待される行政づくりに引き続き力を注ぎます。

苦しみ、かなしさを分け合える社会の実現、これが私の思いです。

どうか、谷口さだお後援会にご加入いただき、地方自治法の原点である市民が主人公のふるさとづくりにお力を貸して下さい。

氷見市議会議員 **谷口さだお**

